

JATA経営フォーラム開催

2月22日、JATA経営フォーラム開催 「交流大国への挑戦」テーマに議論深める

JATAは2月22日、東京・六本木の「六本木アカデミーヒルズ49」（六本木ヒルズ森タワー49階）で、「交流大国への挑戦」担い手としての旅行業の役割」をテーマに「JATA経営フォーラム2016」を開催します。今年の経営フォーラムでは、4つのテーマで分科会が実施されるほか、横浜市の林文子市長による基調講演「人に寄り添うリーダーシップ」すべては共感と信頼から」と東京大学名誉教授の養老孟司氏による特別講演「旅の壁」も行われます。

●分科会A 航空会社との新たな連携の在り方と課題

分科会Aは、越智良典JATA理事・事務局長がモデレーターを務めるパネルディスカッションに、ジェイティービーの伊藤智グループ本社執行役員・旅行事業本部副本部長、全日本空輸の志岐隆史常務取締役執行役員（営業部門統括）、日本航空の二宮秀生執行役員・旅客販売統括本部副本部長の3氏が登壇。航空会社と旅行会社を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、航空会社と旅行会社との連携はどうなっていくのか。旅行会社は、喫緊の課題である航空座席の仕入れにどう対応し、どのような経営姿勢で市場の変



林 文子
横浜市市長



養老 孟司
東京大学名誉教授

化に対処していくのか。新しい連携に向けた課題をめぐって議論を展開します。



越智良典氏

●分科会B 宿泊業界との新たな連携の在り方と課題

分科会Bは、滝の湯ホテル（天童温泉）ほほえみの宿滝の湯の山口敦史代表取締役社長、日本旅行の吉金嘉洋取締役常務執行役員、営業企画本部副本部長（企画・開発部長）、春茂登旅館（春茂登ホテルグ

ループ）の根本芳彦代表取締役社長、ホテルおかのだの原洋平取締役営業部長の4氏が登壇し、i-JTBの今井敏行代表取締役社長がモデレーターを務めます。ともに厳しい経営環境に直面する旅行会社と宿泊事業者は、今後の連携をどのように進めていくのか。宿泊事業者は、旅行会社とOTAに何を期待するのか。それぞれの立場から新しい連携に向けた課題について議論を重ねます。



今井敏行氏

●分科会C 女性の活躍で企業は強くなる！

分科会Cは、JATA関東支部のLADY JATA委員会が提言発表を行います。第1部では、LADY JATA委員長である阪急交通社の斉藤文代CSR推進本部広報部

副部長がモデレーターを務め、旅行会社による取り組みのプレゼンテーションやLADY JATA委員と20代・30代・40代の女性社員、イクボスが登壇し、提言発表を行います。第2部では、ダイバーシティ推進に関する国策や異業種事例などの最新情報について、外部識者の講師に講演をしていただく予定です。



LADY JATA 委員の皆さん

●分科会D 海外旅行の未来展望を語る？旅行会社の役割、存在意義とは？

分科会Dでは、ミキ・ツーリストの壇原徹典代表取締役社長のモデレーターにより、エイチ・アイ・エスの平原明代表取締役社長、クラブツーリズムの小山佳延代表取締役社長、JTBワールドバケーションズの井上

聡代表取締役社長、楽天の山本孝伸執行役員トラベル事業長の4氏が、海外旅行の未来展望や旅行会社の役割存在意義について語り合います。海外渡航自由化から半世紀を経て、旅行会社がリスクを負いながら商品開発や市場開拓に取り組み、1800万人の海外旅行市場と日本人の旅行スタイルを創り上げてきたことを踏まえ、2016年を海外旅行復活の年とすべく議論を深めていただきます。



壇原徹典氏

■参加申込：下記URLより2016年2月18日（木）までにお申し込みください。

<https://qooker.jp/Q/ja/20160222/forum2016/>
※満員になり次第、締め切らせていただきます。

■参加費（税込）：

◆全てのプログラムに参加
JATA会員（正・協力・国内賛助）5,000円／会員外1万円

◆分科会のみ参加
JATA会員（正・協力・国内賛助）3,000円／会員外5,000円

■問い合わせ

一般社団法人日本旅行業協会 総務部（長田・木村）
電話：03-3592-1271 E-mail:kikaku@jata-net.or.jp